

平成26年基金シート (環境省)							
基金名	グリーンファイナンス促進利子補給基金	担当部局	総合環境政策局		作成責任者		
法人名	一般社団法人環境パートナーシップ会議	担当課室	環境経済課		環境経済課長 大熊 一寛		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律(第4条、第5条)、 特別会計に関する法律(第85条第3項第1号ホ)、 特別会計に関する法律施行令(第50条第7項第10号)	関係する計画、 通知等	環境基本計画	関係する行政事 業レビューシ ート	環境省 015		
事業の目的	金融機関によるプロジェクトへのファイナンスに環境配慮を組み込むことにより、将来の環境問題を予防するとともに、地球温暖化対策のための投資における資金調達を利子補給により円滑化することによって、環境金融の拡大と地球温暖化対策の促進を図る。						
事業概要 (5行程度。別 添可)	(1) <input checked="" type="checkbox"/> 取り崩し型 <input type="checkbox"/> 回転型 <input type="checkbox"/> 保有型 <input type="checkbox"/> 運用型 <input type="checkbox"/> その他 (2) <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> 債務保証 <input checked="" type="checkbox"/> 利子助成、補給 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 補てん <input type="checkbox"/> 出資 <input type="checkbox"/> 調査等 <input type="checkbox"/> その他 金融機関が行う環境リスク調査融資のうち地球温暖化対策のための設備投資に係る融資に対し、その利息の一部(ただし、年利2%を貸付残高に乗じた額を上限とする。)を利子補給することにより助成する。						
基金への国庫から の支出の経緯 ①	基金設置年度	平成25年度	当初/補正 (会計区分)	当初予算 (エネルギー対策特別会計)	国費額 (単位:百万円)	300	
	目的	金融機関によるプロジェクトへのファイナンスに環境配慮を組み込むことにより、将来の環境問題を予防するとともに、地球温暖化対策のための投資における資金調達を利子補給により円滑化することによって、環境金融の拡大と地球温暖化対策の促進を図る。					
基金への国庫から の支出の経緯 ②	追加年度	-	当初/補正 (会計区分)	-	国費額 (単位:百万円)	-	
	目的	-					
国庫納付の経緯 ①	年度	-	-	-	国庫納付額 (単位:百万円)	-	
	理由	-					
終了予定時期	【基金の終了予定時期】平成25年度 【新規申請の受付終了時期】平成25年11月13日						
過去に実施した 見直しの概要	短期の基金であるため、見直しは行っていない。						
収入・事業費等 (単位:百万円)	収入	国費 (補助金等)	23年度	24年度	25年度	26年度見込み	
		出資等	-	-	300	-	
		運用収入 (うち国費見合額)	-	-	-	-	
		その他	-	-	-	-	
		前年度末 基金残高	-	-	-	234	
		(マイナス)返納額	-	-	-	234	
	合計(a)	0	0	300	-		
	事業費等	事業費	-	-	57	-	
		管理費	-	-	9	-	
		合計(b)	0	0	66	-	
基金残高(a-b)	0	0	234	-			
(うち国費相当額)	0	0	234	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度 活動見込み
	全国の事業者が、その所在地等によらず環境リスク調査融資を受けられるよう、それら融資制度を設置する金融機関を全国に普及することが成果目標であり、統一的な指標による定量的な成果目標の設定は困難。		成果実績	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
成果目標の 達成度の評価	平成25年度は、指定金融機関数が8行となり、うち都市銀行3行で16件の交付決定を行った。融資先の事業としては、太陽光発電事業、省エネ型建築物の案件が多数を占めた。						

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標(目標年度)		単位	23年度	24年度	25年度	26年度 活動見込み
	①利子補給件数・金額 ②利子補給事業参加 金融機関数(指定金融 機関数)	活動実績 (当初見込み) (単位:百万円)	貸付	件:金額	: (:)	: (:)	: (:)
債務保証			件:金額	: (:)	: (:)	: (:)	: (:)
利子助成 等			件:金額	: (:)	: (:)	16件:57百万円 (:)	: (:)
補助・ 補てん			件:金額	: (:)	: (:)	: (:)	: (:)
出資			件:金額	: (:)	: (:)	: (:)	: (:)
調査等			件:金額	: (:)	: (:)	: (:)	: (:)
指定金融機 関数			行	: (:)	: (:)	8行 (:)	: (:)
単位(1件)当たり の事業費等	3,533,716(円/件)	算出根拠	(平成25年度利子補給額)÷(平成25年度採択案件数) 56,539,461円÷16件=3,533,716(円/件)				
保有割合 (基金事業に要する費 用に対する保有基金 額の割合)	-	算出根拠	本基金は、平成25年度の採択案件に対する平成25年度分の利子補給を行う基金であり、本 基金に係る利子補給事業は終了したため、算出できない。				
基金の見直し の状況	①使用見込みの低い基金等の該当の有 無 (<input checked="" type="radio"/> 有 / <input type="radio"/> 無)						
	【有の場合、該当する 理由】	①事業を終了した基金 ※本基金は、平成25年度の採択案件に対する平成25年度分の利子補給を行う基金であり、本 基金に係る利子補給事業は終了したため。					
	【使用見込みの低い基金 等に該当する場合の 検討結果】	基金残については、国庫への返還を予定している。					
	【使用見込みの低い基金 等を残置する場合の 理由】	-					
	②点検・検査等の実施状況						
平成25年度の採択案件に対する平成25年度分の利子補給を終了したため、基金の用途や残額等の点検を行い、基金の残額について は、国庫への返還を予定。							
③その他							
-							
所見/対応状況	平成26年度は、平成25年度の採択案件に対する利子補給を適切に実施していく。なお、平成25年度の基金残については、上記の通り、 国庫への返還を予定している。						
補記	-						

※平成25年度実績を記入。

環境省
300百万円

【交付】
300百万円

【公募・補助】

A. 基金設置法人
(一社)環境パートナーシップ会議

- ・事業費:57百万円
- ・事務費:9百万円
- ・基金残高:234百万円

【グリーンファイナンス促進利子補給基金】

利子補給の審査・交付

【交付】
57百万円

【公募・利子補給】

B. 金融機関
16件 57百万円

- ・指定金融機関:8行
(内、3行で16件の案件を採択)

環境影響等調査および環境配慮取組計画を条件に行う
融資、モニタリング

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の金 額が支出されて いる者について 記載する。費目と 用途の双方で実 情が分かるよう に記載)	A.一般社団法人 環境パートナーシップ会議			B.三菱東京UFJ銀行		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	補助金	事業費	57	補助金	利子補給金	37
	補助金	事務費	9			
	計		66	計		37

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要 及 び 採 択 理 由	支 出 額 (百万円)
1	(一社)環境パートナーシップ会議	基金の管理及び補助対象事業の審査・交付事務	300

B.

	支 出 先	業 務 概 要 及 び 採 択 理 由	支 出 額 (百万円)
1	三菱東京UFJ銀行	(業務概要)グリーンファイナンス促進利子補給金交付事業を実施。 (採択理由) 審査の結果、交付規程の要件に合致したため。	37
2	三井住友銀行	(業務概要)グリーンファイナンス促進利子補給金交付事業を実施。 (採択理由) 審査の結果、交付規程の要件に合致したため。	18
3	みずほ銀行	(業務概要)グリーンファイナンス促進利子補給金交付事業を実施。 (採択理由) 審査の結果、交付規程の要件に合致したため。	2